

事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和3年2月1日

事業所名 児童発達支援事業 あゆみ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点などを踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・法令に従って整備されている。 ・活動によって部屋を分けて環境設定を行っている。 ・基準より広いスペースを設けて、必要に応じて環境設定できるようにしている。	
	②	職員の配置数は適切である	○		・障害者総合支援法に基づき、職員を配置を配置している ・基準よりも多い人数配置を行っている。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		絵カードや視覚的構造化をしている。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		・こまめに換気、消毒を行っている。また多く触れる場所の消毒を徹底している。 ・子どもの状況に合わせて対応できるように活動空間を変えている。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		・毎日の申し送りを作成し、確認、共有を行っている。 ・その日の活動進行表(日案)の作成を行い、共有している。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		・ご家族の要望等に対して、職員会議、課題検討会議等で検討し、迅速に対応をしている。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		アンケート結果等は、あゆみ便りで公表している。また後日HPIにて公開している。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		・今年に第三者評価を受審予定だったが、緊急事態宣言に伴い延期している。今後実施予定。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		毎月職員研修を実施(内容は職員からの意見書を参考に作成)。必要に応じて、外部研修等の参加もしている。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		相談支援専門員と連携を図り、子どもと保護者のニーズや課題を分析したうえで、計画を作成している。 ・半年や必要に応じて保護者との面談を行なっている。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		・法人で統一されたアセスメントツールを使用している。 ・KIDSやJSI-Rなどの検査ツールを使用している。	

事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和3年2月1日

事業所名 児童発達支援事業 あゆみ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点などを踏まえた改善内容又は改善目標
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		個別支援計画内に、移行支援、家族支援、地域支援についてそれぞれ項目を設けて記載している。必要に応じて、支援計画内に設けている。 ・送迎時や連絡帳にてやり取りを行い、家庭での状況も分析に取り入れている。	
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		ケース記録は支援計画に基づいた内容を記録するようにしている。	
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・日案を作成し、全体で検討、共有を図っている。 ・必要に応じて検討会議を開き、方向性を決めている。	
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		月案を作成する際は、職員会議で子どもの発達に合わせて内容を検討し、確認を行っている。 ・連絡帳などでその日の活動内容を詳しく記載するようにしている。	
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		それぞれの利用者に合わせて目標を設定し、個別療育を提供している。	
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		日案や申し送りをもとに、朝礼で確認を行っている。	
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		申し送りをもとにケース記録へ反映させ、朝礼等などでも報告を行うことで、職員間の共有を図っている。	
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援計画の検証・改善につなげている	○		ケース記録等で気になることは、課題検討会議や申し送りで検討を行い、支援の検証や改善を図る機会を設けている。	
関係機関や保護	⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		保護者との面談を半年に1回を目安に実施。ニーズや満足度の確認を行い、評価をしている。新規利用者の初回見直しについては、必要に応じて時期を早めてモニタリングを実施している。	
	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者、担当職員が出席している。	
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		必要に応じて保健師や事務所、相談支援専門員等とやり取りを行い、連携した対応を行っている。 緊急性が高い案件に関しては子ども家庭支援センターと連携を図り、対応している。	

事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和3年2月1日

事業所名 児童発達支援事業 あゆみ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点などを踏まえた改善内容又は改善目標
者との連携関係機関や保護者との連携	⑳ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○		・該当なし。
	㉑ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力機関等と連絡体制を整えている		○		・該当なし。
	㉒ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		併行先の幼稚園、保育園に見学に行き、情報共有を図っている。必要に応じて情報提供シートの作成を行い、提出している。	
	㉓ 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・学校へ情報提供シートの提出及び、電話や面談等で情報共有の機会を設けている。 ・就学相談前に就学相談資料の作成を行っている。 ・学校見学会にご家族と一緒に参加し、情報交換、現状の把握に努めている。	
	㉔ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		・知的発達部会に参加し、必要な情報共有、研修の受講等に努めている。 ・年2回板橋区の児童発達連絡部会に参加し、意見交換や情報共有を行っている。	
	㉕ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		・定期的な野火止保育園との交流を実施。	・今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から外部からの出入りは中止とした。今後対策について考えていく。
	㉖ (自立支援)協議会子ども部会の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		知的発達部会、児童発達連絡会に参加し、必要な情報共有、研修の受講等に努めている。	
	㉗ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・連絡帳や送迎時に毎日申し送り等を行って情報共有を図り、支援の共有化及び改善を図っている。また必要に応じて面談を実施している。 ・見学会を計画し、保護者に子どもたちの様子を見てもらう機会を設けている。	
㉘ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○			実施予定であったが、緊急事態宣言に伴い、今年度は未実施。	
㉙	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に運営規定、重要事項説明書の説明を行なっている。また変更があった場合、文書にて伝えている。	

事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和3年2月1日

事業所名 児童発達支援事業 あゆみ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点などを踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	③③ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		ご家族と面談を行い、情報を整理し、目標を設定したことを面談で説明し同意を得ている。	
	③④ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		連絡帳を用いて家庭での様子や事業所の取り組みを共有している。また必要に応じて、面談や電話面談を行っている。	
	③⑤ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			実施予定であったが、緊急事態宣言に伴い、今年度は未実施。
	③⑥ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情受付担当者や解決責任者、第三者委員会の体制を整備している。苦情・要望・相談があった場合は、台帳等に記録を行い、職員間で共有、改善に努めている。	
	③⑦ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		年に4回事業所便り、法人会報を配布している。連絡体制については、事業所玄関に掲示している。	
	③⑧ 個人情報の取扱いに十分注意している	○		・個人情報についての研修やマニュアルの整備を行い、周知を図っている。また個人情報の取り扱いについてはご家族に契約時説明、使用等について同意を得ている。 ・職員間で二重チェックを実施している。	
	③⑨ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のため配慮をしている	○		絵やジェスチャー等を用いて個々に応じた説明をしている。必要に応じて、専門職からの助言をもとに対応している。また外国籍のご家庭には翻訳機能等を用いながら説明している。	
	④⑩ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			昨年まではハロウィンなどで交流を図っていたが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施。
非常時等の対応	④① 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		・各マニュアルを整備し、感染症に対する対応研修や、不審者対応訓練、避難訓練などを実施している。	
	④② 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っている	○		地震、火災等を想定し、毎月1回避難訓練を実施している。また年2回消防立会いの訓練を行い、助言等をもらっている。引き渡し訓練についても実施している。	

事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和3年2月1日

事業所名 児童発達支援事業 あゆみ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点などを踏まえた改善内容又は改善目標
④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		契約時に必ず確認を行っている。 与薬が必要な場合は、与薬依頼書を記載してもらい行っている。 てんかん発作等が発生した際は記録をしている。また計画の見直しの際に、保護者に投薬等の確認を行っている。	
④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		・標準化された様式にて、アレルギー確認を必ず行っている。 ・食事提供時は机を分ける、調理遊び等の際はご家族に確認をするなど対応している。	
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハット報告書を作成し、発生時は朝礼、回覧にて周知を行う。また職員会議で改めて周知するとともに、経過報告や対応について検討する機会を設けている。	
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		人権擁護チェックリストを活用し、事業所内研修にて周知確認を行っている。	
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		災害などの緊急時に行う場合があることについて保護者に契約時に説明を行なっている。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

公表：令和3年2月1日

事業所名 児童発達支援事業所 あゆみ

保護者等数（児童数）20名 回収数 17名 割合 85%

		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応（事業所より）
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	16	1				・法令に従って整備されています。また、基準より広いスペースを設けており、必要に応じて環境設定できるようにしています。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	9	1		2	・活動中の様子を見たことがないので ・先生たちが異動してしまっていて不安ではありません。 ・急に減っている印象もありません。	・障害者総合支援法に基づき、職員を配置を配置しています。基準では5名に対して1名の職員配置となっています。事業所では児童数にもよりますが、最大10名に対して毎日3～5名の職員が配置されています。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	16	1				・一日の流れや活動を示す際に絵カードを使用するなどお子様が視覚的な情報を手掛かりに取り組めるようにしています。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	16	1			足に虫刺されのような「かぶれ」がよくできています。	・新型コロナウイルス感染症予防対策のため、室内の換気を行っています。そのため、虫が室内に入り込んだ可能性があります。網戸や虫よけなど設置するようにはしていますが、今後も配慮していきたいと思っております。申し訳ありません。
⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	17						
⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	17						

公表：令和3年2月1日

事業所名 児童発達支援事業所 あゆみ

保護者等数（児童数）20名 回収数 17名 割合 85%

		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応（事業所より）
適切な支援の提供	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	16			1	活動中の様子を見たことがないので	支援内容については連絡帳や口頭で説明できる機会を設けるようにしています。個別計画に沿って毎日の支援計画（日案）で個々の目標を設定し、取り組んでいます。また、実施した内容が適切であったかはその日の支援記録に残し、申し送りとして次回に生かせるようにしています。
	⑧ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	15	1		1	<ul style="list-style-type: none"> 週によって午前の活動が重複することがあります。午後の課題別療育を行った時の本人の様子を連絡帳に記載していただくとありがたいです。 コロナでなかなか難しいと思いますが、以前のようにクッキングやお散歩も少しずつできると嬉しいです。 	現在週3回サーキットを設けており、活動内容が重複していることがあります。サーキットは毎回取り組む内容をお子様に合わせて変更するようにし、お子さんが楽しんでスタートからゴールまで目指せるよう努めています。また、サーキット以外にも午前の活動時にその他の遊びを取り組むようにしています。連絡帳にて細かくお伝えできておらず、申し訳ありません。その日の様々な出来事や支援内容を伝えていけるよう努めていきます。また、送迎時に少しでも日常の様子をご家族の皆様にお伝えしていけるよう努めていきます。また少しずつではありますが、お散歩の活動も始まりました。その他の活動についても検討していきます。
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	7	5	1	4	活動中の様子を見たことがないのでコロナの影響でそういった機会も減ってきているのが残念に思います	昨年度までは定期的に野火止保育園との交流を実施していましたが、新型コロナウイルス感染症予防の観点から今年度は一度も実施できていません。楽しみにして下さっていたご家族の皆様におかれましては大変申し訳ありません。現在の状況を慎重に見極めながら実施できるか検討してまいります。ご理解をいただけますと幸いです。
⑩ 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	17						
⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	17						

公表：令和3年2月1日

事業所名 児童発達支援事業所 あゆみ

保護者等数（児童数）20名 回収数 17名 割合 85%

		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応（事業所より）
保護者への説明等	⑫ 保護者に対して「家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	11	2	2	2	やはりコロナ渦でそういった取り組みは減っているように思います。去年ペアレントトレーニングに参加してとても良かったのでぜひまたやってほしいと思います。	昨年度はご家族向け研修会として「ペアレントトレーニング」を3回にわたってお伝えする機会がありました。今年度も実施予定でありましたが、残念ながら実施できていません。申し訳ありません。次回行われます「活動体験」にて少しでもご家族に向けた支援についてお伝えできればと考えています。また、研修会についても感染症予防対策を十分にとりながら実施できるよう検討していきます。
	⑬ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	17					
	⑭ 定期的に、保護者に対して面談や育児に関する助言等の支援が行われているか	16					
	⑮ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	6	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナで難しいかもしれないが、保護者同士の交流も欲しいなと思います。 ・他の保護者さんとはご挨拶する程度なので、保護者会があると嬉しいですがコロナですしね… ・コロナにより今の時期は難しいと思います。 	本来であれば今年度は保護者説明会を4月に開催予定でしたが、緊急事態宣言に伴い中止となりました。また、その際ご家族間の交流を図る予定でしたが、中止になったことによりアンケートにてご自宅の様子や気になることへの意見を伺うことになりました。また今後の予定としましても、家族会を作る予定等はありません。しかし、ご家族向け研修や意見交換会など予防対策をしっかり図ったうえで、取り組めるものは取り組んでいきたいと考えています。
	⑯ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	16	1				対応が十分に取れてないこともあり、ご迷惑をおかけすることがあるかと思えます。申し訳ありません。なるべくその場で確実な応答できるよう心がけておりますが、応対が難しい場合は、職員間で検討してから対応することがあることもあります。お待たせさせていただきますとありますが、ご理解いただけますと幸いです。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和3年2月1日

事業所名 児童発達支援事業所 あゆみ

保護者等数（児童数）20名 回収数 17名 割合 85%

		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応（事業所より）
	⑰ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	17					
	⑱ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	12	3		2	以前よりホームページ上での活動状況の様子の連載が減っているように感じます。	今年度に入り更新が滞っており申し訳ありません。月1,2回ペースで更新をしていけるよう努めていきます。
	⑲ 個人情報の取扱いに十分注意されているか	17					
非常時等の対応	⑳ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	16		1		訓練の日に通所していないので	引き渡し訓練については毎年度9月、2月に実施していますが、引き渡し場所との兼ね合いもあり現在実施できておりません。今年度中に実施できるよう検討していきます。
	㉑ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	14		1	1	訓練の日に通所していないので	毎月事業所内での避難訓練を行っています。また、年に2回消防隊立ち合いのもとでの避難訓練も行っていますが、今年度は実施できていません。今後消防と検討していきたいと思います。
満足度	㉒ 子どもは通所を楽しみにしているか	17				とても楽しんでます。	うれしいお言葉ありがとうございます。今後もお子様が毎回楽しみに通所できる環境を整えていきたいと思います。
	㉓ 事業所の支援に満足しているか	17				いつもありがとうございます。	至らない点もあるかと思いますが、多くのご家族が支援に満足していただいて大変うれしく思います。この言葉を励みに、甘えることなくより良い支援についてお子様、ご家族の皆様と一緒に取り組んでいけるよう精進していきたいと思います。なにか気になることや困ったことがあった際はいつでもお気軽ご相談ください。

○この「保護者等からの事業所評価表の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。